

回生 ニュース

K a i s e i N e w s



社会医療法人 峰和会

88号

2016.5月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL/059-375-1212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaiseihp.com
編集協力/TCKnagaya

- 1 医療の現場から
「2016' 新入職員紹介」
- 2 あなたの街のお医者さん
「ハートフルクリニック北井内科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「食動源」
・ロコモシリーズ ~ロコトレプラス~
・スナップえんどうの彩りライスサラダ
- 6 回生.com
「ドクターズリスト」血液内科副部長 伊藤 基博
- 7 Information

ほっと smile 他

第9回 桜 フォトコンテスト各部門受賞作品

みなさんからの御意見

- どの作品もすばらしいですね。来年も楽しみにしています。
- 楽しいイベントです。ずっと続けて欲しいです。
- 回生病院は桜の名所です。いろいろ企画してくれてありがとうございます。



2016'新入職員紹介

Suzuka kaisei Hospital



薬剤管理課/薬剤師 近藤 健太



社会人となり不安な気持ちもありますが、何事にも積極的に取り組む姿勢を心がけ日々の業務に取り組みたいと思います。毎日の業務での学びを大切にし、患者さんや職員に信頼される薬剤師を目指して頑張ります。

看護部/看護師 駒田 里奈



これから、一人前の看護師になるために、日々勉強の毎日です。先輩方のご指導を頂きながら、患者さんを第一に考えられる看護師を目指していきます。笑顔を忘れず、精一杯頑張ります。

臨床検査課/臨床検査技師 河村 真衣



4月より臨床検査技師として働かせていただきます。チーム医療の一員であるという自覚をもち、仕事に励みたいと思います。また、患者さんの不安を少しでも取り除くことができるように「挨拶・笑顔・心遣い」を大切に頑張りますので、よろしくお祈りします。

リハビリテーション課/理学療法士 三谷 将史



私は小学校時代から野球が大好きで現在も続けています。試合中のケガがきっかけで理学療法を受けることとなり、その仕事に憧れました。自分も患者さんに安心を与え、憧れを持たれるような理学療法士を目指して頑張ります！

臨床工学課/臨床工学技士 河内 雄貴



4月より臨床工学技士として働かせていただきます。新人らしく優しい先輩や上司の方々に必死にくらいついて、患者さんやスタッフの方から信頼される技士になれるように頑張りますのでみなさんよろしくお祈りします。

医事課/事務員 河合 れみ



不安や緊張はありますが、明るく・元気に・笑顔をモットーに、愛される医療人を目指したいです。学んできた事を少しでも生かせるよう、一日一日を大切に、チーム医療の一員として頑張っていますのでよろしくお祈りします。

連携医療機関紹介

ハートフルクリニック北井内科



▲ 院長の北井 珠樹先生

ハートのマークが目印です

ハートフルクリニック北井内科は、鈴鹿中央総合病院の北側にあります。



院長の北井珠樹先生は、三重大学医学部を平成5年にご卒業後、第一内科へご入局され、三重大学病院、山本総合病院、松阪中央総合病院、虎ノ門病院、鈴鹿中央総合病院にて循環器内科専門医として研鑽をつまれたのち、平成19年この地に開業されました。開業を考え始めたのは虎ノ門病院に勤務していた頃だったという先生。きっかけは初めて体験した電車通勤の時の読書なのとか。電車の中で読んだ心理学の本で、診療と患者さんの関係を考えて時、相通じるものを感じたのだそうです。「虎ノ門病院は非常に忙しい病院でしたので、患者さんとの関係が希薄でした。患者さんとの時間がとれないことが多い中、コミュニケーションを密にすることで患者さんが大変喜ばれることを再確認しました」。患者さんに喜んでいただける、理想のクリニック開業への第一歩でした。

朝、7時半から診療しています

「大きな病院ですと、朝早くから皆さん並んでますよね？何故こんなに並ぶのかを考えたとき、早く診て欲しいのではなく、早く終わりたいのだと考えました。そこで私はそのニーズに応えようとスタッフとも相談し開業当初から早朝診療を継続しています」。実際、患者さんのニーズがあり、7時半からの診療でも既に10名ほどのかたが並んでおられます。そんな先生も実は朝は苦手でした。「勤務医時代に始めた早起きで、一番喜んでくれたのは患者さんでした。それ以来どこの病院勤務になっても続け、今に至っています。早起きが決して得意ではないのです。ただ、患者さんとの出会いも一期一会ですから、万全な体制で臨みたいと思うのです。そう考えるとだんだんと早起きになり、いまでは3時20分起床です（笑）」

禁煙外来

一般的な禁煙成功率は60%といわれるなか、ハートフルクリニック北井内科での禁煙成功率は86%を誇っています。「初回の指導に2〜3時間かけて、禁煙支援助手の資格をもった看護師が非常に熱心に指導を行います。指導期間は人によって異なり、2ヶ月から3ヶ月です。たばこをやめたいけどなかなかやめられない方、禁煙に挑戦してみませんか？」

患者さんへのメッセージ

～患者さんのニーズがどこにあるのかを常に探っています。さまざまな異業種業界では、常にCS向上に力をいれています。医療業界は真似るべきことだと感じています。その為に、例えばディズニーランド、ANAなどの企業における接遇について評議し合う勉強会を、1ヶ月に1回行っています。また、最近スタッフ全員で手話を学び始めました。開業当初から、筆談で来院される患者さんがおられ、スタッフが去年の秋くらいから勉強

DATA

TEL 059-381-0600

住所
鈴鹿市安塚町宮塚1651-3

診療科目
●内科

診療時間
月・水・金／7時30分～18時00分
火・木・土／7時30分～14時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	△	○	△	○	△	×

△午後は14時00分まで

休診日
日曜、祝日



し、その患者さんに手話で対応したところ、泣いて喜んでくれたのです。なぜ今までやらなかったのかと、後悔しました。できないことのいいわけを考えることは簡単です。そうではなくやり続ける理由を探ること、それをスタッフ全員の共通認識として持っています。皆さんには、『いいスタッフが沢山いていいですね』とお褒めの言葉をいただくことも多々ありますが、私を含めみんなははじめから出来たわけではありません。みんなで努力をし、伸びてきたと思っています。患者さんに、当院に来て良かったと思っていただけることが最大の目標です。～
今後も、心あたたまるハートフルな診療で地域医療に貢献されることでしょう。





作業療法士
坂 尚樹

「フロントランジ」
下肢の柔軟性、バランス能力、筋力をつけます。

「ヒールレイズ」
ふくらはぎの筋力をつけます



立っている状態から太ももが水平になる
ぐらいにまで徐々に腰を深く下げます



両足で立った状態から、かかとを
上げてゆっくり降ろします

Point >>

上体は胸を張って、良い姿勢を維持します。大きく踏み出しすぎて、
バランスを崩さないように気をつけます。

Point >>

バランスを崩しそうな場合は、壁や机に手をつけて行ってください。
また踵を上げすぎると転びやすくなります。

発信@
栄養管理室

管理栄養士
大河内晴花



●スナップえんどう

4～5月が旬の緑黄食野菜でビタミンB1、食物繊維、ビタミンC等をバランスよく含みます。

100gあたりのビタミンB1は0.13mg（キャベツ0.04mg）と野菜の中で多く含まれます。今回のメニューではそれを加えることで0.32mgとなり1食量を満たすことが出来ます。（2015年食事摂取基準より、成人女性の摂取必要量1日0.9mg）

ビタミンB1は糖質をエネルギーに換える働きがあり、ビタミンB1の吸収を促すアリシンを含むにんにく、硫化アリルを含む玉ねぎと一緒に摂ることで相乗効果が期待できます。

●ライスサラダ

味付きの主食は塩分が多く3g程ですが、油や酢等の調味料を使うことで塩分を減らすことができ、食欲がない時でもさっぱりとお召し上がりいただける1皿です。

ピックアップ食材
スナップえんどう

スナップえんどうの

彩りライスサラダ



【材料】(2人分)

ご飯	1合分(白米:玄米=1:1)
えび(サラダえびでも可)	6尾
スナップえんどう	9房(小さければ14房)
新玉ねぎ	1/5個
ツナ缶(油漬)	小1/2缶
コーン	20g
パプリカ	1/2個
トマト	1個
ベビーリーフ	1パック
にんにく	1かけ
オリーブ油	大・小さじ各1
米酢	大さじ3弱
塩	小さじ1/4
こしょう	少々
醤油	小さじ2

【作り方】

- ①Aの野菜は角切りにし、にんにくはすりおろし、エビは下処理をして茹でておく。
- ②Bにご飯を加えて混ぜ、Aの食材を加えてさらに全体が均等になるようにさっと混ぜる。
- ③皿にベビーリーフ、その上に②を盛り付け、最後にえびを彩りよく盛り付けで完成。

【栄養成分】1人分

エネルギー	486kcal
たんぱく質	17.8g
脂質	13.2g
塩分	1.5g

このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

Doctors List

伊藤 基博 いたう もとひろ 血液内科 副部長

専門領域:血液

資格:三重大学臨床講師



Q1. 出身地はどちらですか? 幼少時の思い出を聞かせてください

津市出身です。幼少の頃は近所を三輪車で毎日のように走り回っていました。川で魚を捕ったり、山で昆虫を捕ってきたりと、やんちゃな子供でした。

Q2. なぜ医師をめざしたのですか?

子供心に漠然と医師になりたいと思っていました。小学1年生の時の作文で、将来はお医者さんになりたいです、と書いた記憶が残っています。

Q3. 血液内科を専門にしたのはなぜですか?

中学生頃から内科医になりたいと思い始め、大学に入ってから、全身を診られる内科に進もうと決めました。大学での講義、実習を受けていく中で、血液疾患に興味を持つようになり、第二内科に入局しました。

Q4. 趣味や好きな事 (ストレス発散方法など)は何ですか?

趣味はゴルフです。スコアは全くで、しばらくしていませんが、また再開出来たらと思っています。ストレス発散はスポーツ観戦でしています。野球、サッカー、駅伝等テレビ放送がある時は楽しみにしています。

Q5. 今後力を入れて行きたい事は何ですか?

血液疾患、リウマチ、膠原病の最新の治療を提供できるよう努力していきたいと思います。また、最近予防医学に興味を持ち始めました。少しずつでも勉強していけたらと思っています。

Q6. 紹介を希望する疾患を教えてください

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍、その他血液疾患全般です。また、関節リウマチ、膠原病の診療にも力を入れています。

Q7. 学生時代の思い出をお聞かせください

子供の頃からスポーツに親しみ、中学では野球部、高校ではソフトボール部に所属し、部活の毎日でした。そのかいあって高校3年生の時に県大会で準優勝をすることができました。



ソフトボール部

Message

患者さんへのメッセージ

長期間の治療を要する科でもあり、患者さんが安心して治療を受けていただけるよう日々努力して参りたいと思います。

平成29年度 新卒看護師募集!

病院見学会

・8月6日(土) 10時～

受付締切

・7月10日までに
お申し込みください。

インターンシップ研修

- ・7月22日(金) 9時～16時
- ・7月28日(木) 9時～16時
- ・8月18日(木) 9時～16時
- ・8月23日(火) 9時～16時

TEL:059-375-1212(病院代表)

TEL:059-375-1332(看護部直通)

mail:kangobu@kaiseihp.com

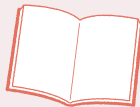
全日昼食はご用意しております。

看護部 横田 和美

お問合せ先



腎臓病教室スケジュール



「食事と運動こそすべての養生の基本」であるということを毎回参加者に楽しく学べる体験型の教室です。この機会にぜひ腎臓病について学びませんか?

5/17(火)	11:45～13:30
6/14(火)	11:45～13:45
7/12(火)	11:45～13:30
8/9(火)	11:45～13:30
9/13(火)	11:45～13:45

開催の1週間前までに下記までお申し込み下さい。
栄養管理課:059-375-1329
担当:北林または村上まで
参加費:お一人様 1000円(食事代込み)
※定員になり次第予約を締め切らせていただきますのでご了承ください。

日本医療薬学会の

指導・認定薬剤師を取得

薬剤管理課木村匡男課長が日本医療薬学会の指導・認定薬剤師を取得しました。三重県内においては7名が認定されております。また、当学会の認定薬剤師制度の研修施設も認定されました。今後もより安全な薬物療法の提供に貢献し、お薬に関する不安や悩みなどについてご相談をお受けします。



鈴鹿市

脳卒中市民講座 開催のお知らせ

今年も4名の脳卒中専門医により脳卒中に関する話題をわかりやすく講演いたします。どなたでも参加自由となっておりますので、ぜひご参加ください。

入場無料

日時 6月18日(土) 13時～

場所 鈴鹿市文化会館げやきホール

研修医が活躍!

第12回三重卒後研修医学会に於いて、当院の研修医早川萌医師が優勝、池田麻依医師が準優勝を獲りました。



病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

ほっと smile

新任医師を紹介します

	病理 草野 五男 (クサノ イツオ)	
	婦人科 和田 俊一 (ワダ トシカズ)	
	消化器内科 田野 俊介 (タノ シュンスケ)	
	整形外科 上田 幸広 (ウエダ ユキヒロ)	
	整形外科 千賀 佳幸 (センガ ヨシユキ)	
	血液内科 爲田 里沙 (タメダ リサ)	
	消化器内科 結城 麻衣 (ユウキ マイ)	
	脳神経外科 西井 翔 (ニシイ ショウ)	

編集後記

今回は「新入職員」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等ございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院長 関)

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com